

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）

（防災推進国民会議構成団体）

令和5年11月30日現在

【行事等】

1. 実施済み及び実施中

	団体名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
学術界	日本学術会議	第15回防災学術連携シンポジウム「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」 (共催:防災学術連携体)	令和5年4月11日	—	オンライン開催	—
		「関東大震災 100 年シンポジウム」 (共催:防災学術連携体)	令和5年7月8日	—	日本学術会議講堂（ハイブリッド開催）	4つのテーマに分け、パネルディスカッション。 (1)地震・地震工学 (2)都市の地震防災、災害後の復興・まちづくり (3)災害時対応（医療・生活）(4)災害と情報・社会
		防災推進国民大会2023 セッション、日本学術会議学術シンポジウム、第17回防災学術連携シンポジウム「防災科学からみた関東大震災の回顧と展望」 （共催：防災学術連携体）	令和5年9月17日	—	オンライン開催	関東大震災から100年目を迎える契機に、防災科学の視点から関東大震災を振り返り、過去から現在を精査し、未来への展望について議論。特に本年7月8日開催の学術フォーラム「関東大震災100年と防災減災科学」での知見を整理し、地震・地震動、都市計画、災害医療、情報・社会の観点で学協会の枠を超えた情報共有を実施。
	防災学術連携体	第15回防災学術連携シンポジウム「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」 (共催:日本学術会議)	令和5年4月11日	—	オンライン開催	—
		「関東大震災 100 年シンポジウム」 (共催：日本学術会議)	令和5年7月8日	—	日本学術会議講堂（ハイブリッド開催）	4つのテーマに分け、パネルディスカッション。 (1)地震・地震工学 (2)都市の地震防災、災害後の復興・まちづくり (3)災害時対応（医療・生活）(4)災害と情報・社会
		防災推進国民大会2023 セッション、日本学術会議学術シンポジウム、第17回防災学術連携シンポジウム「防災科学からみた関東大震災の回顧と展望」 （共催：日本学術会議）	令和5年9月17日	—	オンライン開催	関東大震災から100年目を迎える契機に、防災科学の視点から関東大震災を振り返り、過去から現在を精査し、未来への展望について議論。特に本年7月8日開催の学術フォーラム「関東大震災100年と防災減災科学」での知見を整理し、地震・地震動、都市計画、災害医療、情報・社会の観点で学協会の枠を超えた情報共有を実施。
メディア	日本放送協会	アナウンサーの呼びかけ	随時	—	—	NHKと民放6局のアナウンサーによる呼びかけ。
		「シリーズ関東大震災100年」放送	令和5年1月22日～	—	テレビ番組「明日をまもるナビ」	令和5年1月22日（日）から4回シリーズ「明日をまもるナビ」で関東大震災100年を特集。
		もしもフェス	令和5年9月2日	令和5年9月3日	代々木公園	関東大震災の番組の映像を大画面で見せたり、アーカイブスのサイトをタッチモニターで触れたりするブース出展。
		ぼうさいこくたい	令和5年9月17日	令和5年9月18日	横浜国立大学	関東大震災の番組の映像を大画面で見せたり、アーカイブスのサイトをタッチモニターで触れたりするブース出展。

メディア	日本新聞協会	企画展「そのとき新聞は、記者は、情報は―関東大震災100年―」	令和5年8月26日	令和5年12月24日	ニュースパーク（日本新聞博物館）	関東大震災における新聞社の被災状況や記者が被災地で見たもの・経験したこと、横浜・神奈川がどのように伝えられたのかを、当時の紙面や写真で振り返る。災害時に広がる流言・デマも紹介し、不確かな情報にどう対処するかを考える機会にするほか、関東大震災前後の震災、新聞社の防災・減災の取り組みも取り上げる。
		企画展「そのとき新聞は、記者は、情報は―関東大震災100年―」関連シンポジウム「関東大震災100年をどう伝えたか」	令和5年11月26日	—	ニュースパーク（日本新聞博物館）	今年100年を迎えた関東大震災を伝えるにあたり特に意識したことや工夫・難しさ、当時混乱の中で広がった流言・デマや殺傷事件を報じる上で心掛けたこと、今後の地震災害報道の課題や展望について、関連報道に携わった新聞各社の担当者が話し合う。
医療	日本医師会	日本医師会シンポジウム「関東大震災発災から100年～未来に生かされるべき教訓～」	令和5年9月1日	—	本会公式YouTubeチャンネル及び特設サイト上でのオンライン配信。また朝日新聞の9月1日号において採録を掲載	災害大国と言われるわが国では、いつまた大きな災害が起きるか分からない状況にある。関東大震災の発災から100年になる今年、国民に対して改めて日頃からの備えを呼び掛けるとともに、日本医師会の果たす役割について知ってもらうことを目的として開催。
その他	日本赤十字社	災害救護セミナー	令和5年2月18日	—	オンライン開催	日本赤十字看護大学附属災害救護研究所による主催。
その他	日本赤十字社	企画展「関東大震災100年 温故備震～ふるきをたずぬ明日に備える～」	令和5年4月4日	令和6年3月28日	赤十字情報プラザ（日本赤十字社本社1階）	赤十字情報プラザ（日本赤十字社本社1階）にて開催（赤十字WEBミュージアムでも同名の特別企画を公開）。※赤十字情報プラザは令和6年1月4日から2月12日まで一時休館
		関東大震災100年から100年にかかるパネル展示	令和5年5月1日	令和5年5月31日	東京都内4献血ルーム（新宿東口献血ルーム、有楽町献血ルーム、献血ルームfeel、akiba:F献血ルーム）	100年前の関東大震災を振り返り、備えにつなげることを目的としたパネル展示を実施。
	日本生活協同組合連合会 ※「関東大震災100年事業 賀川豊彦とボランティア」実行委員会	関東大震災100年事業 賀川豊彦とボランティア 関連企画	令和5年8月	令和6年3月	日本基督教団銀座協会5Fぶどう	関東大震災時に、協同組合の父と言われる賀川豊彦が果たした役割に関連した記念行事。パネル展、書籍出版、シンポジウム開催など。

2. 今後の予定

	自治体名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
メディア	日本新聞協会	企画展「そのとき新聞は、記者は、情報は―関東大震災100年―」関連シンポジウム「来るべき災害をどう伝えるか」	令和5年12月17日	—	ニュースパーク（日本新聞博物館）	首都直下地震や南海トラフ巨大地震などの想定される地震や災害について、メディアは日頃どのような情報発信を心掛け、一方でどのような課題があり、何を求められるか。新聞社、放送社、ネット企業の担当者、地域防災に携わる専門家が、それぞれの取り組みを紹介しながら話し合う。

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（防災推進国民会議構成団体）

令和5年11月30日現在

【広報誌等】

1. 実施済み及び実施中

	団体名	掲載する広報誌・ホームページ名	掲載時期	概要
学術界	防災学術連携体	1923年関東地震100年企画 冊子発行	令和5年7月8日	防災学術連携体の62学協会による冊子（各学協会 A4 版2頁程度）。
メディア	日本放送協会	NHK放送文化研究所ホームページ	令和5年3月20日～	NHK放送文化研究所の災害関連のコンテンツを集め、災害とメディアのあり方を考えるページ。
		災害列島 命を守る情報サイト	令和5年5月25日～	関東大震災発生直後に作られた古地図をもとに、同じ場所で生きる現代の私たちが必要な対策について考えるページ。
		関東大震災特設ページ「特集 地図で見る関東大震災の写真と動画」	令和5年6月上旬～	NHKのアーカイブスから見つかった関東大震災当時の写真を地図上で公開する特設ページ。
医療	日本医師会	関東大震災特設ページ開設	令和5年9月1日～	本会で実施予定のシンポジウム動画、関東大震災に深くかかわった都道府県医師会や日本医師会において現在取り組んでいる災害対策の取組みなどについて紹介。
女性団体	全国女性団体連絡協議会	広報誌「全国女性団体連絡協議会」	令和5年9月15日	今年は、1923年に発生した関東大震災から100年の節目に当たり、発生日である9月1日は、「防災の日」と定められている。普段からそれぞれに地域で、防災について考え、災害に備える機会とすることを呼びかけ。
			令和5年11月15日	小池東京都知事と櫻井全女会会長が対談を実施。東京都における、災害に関する現在の取り組み並びに今後の防災対策について、意見を交換した内容を掲載。
その他	日本赤十字社	関東大震災から100年	令和5年5月1日～ 令和6年3月31日	関東大震災の被災経験を活かし、今日発災が予想されている首都直下地震や南海トラフ巨大地震から身の安全を守る方法について考える。
		広報紙「NT」36号～39号	令和5年1月・4月・ 7月・10月	36号から39号まで「関東大震災から100年の防災」と題した防災チェックリストを連載。また38号と39号にわたって、当時の被害状況や救護活動の様子を振り返り、教訓に学び備える特集記事を掲載。

その他	日本生活協同組合 連合会	『生協運営資料』9月号	令和5年9月1日	『生協運営資料』は、生協の役職員を対象に年6回発行している定期刊行誌。本年9月号では、関東大震災から100年を迎えるにあたり、東日本大震災以降、生協においても特に大きな課題として位置付けられるようになってきているリスクマネジメントやBCPについてを特集。
	日本生活協同組合 連合会 ※「関東大震災100年 事業 賀川豊彦とボラ ンティア」実行委員会	関東大震災100年事業 賀川豊彦とボランティア 関連企画	令和5年8月～ 令和6年3月	関東大震災時に、協同組合の父と言われる賀川豊彦が果たした役割に関連した記念行事。パネル展、書籍出版、シンポジウム開催など。

以上